|  |  |
| --- | --- |
| I　C　T　通信  　　　　いつも　　　　　ちょっと　　　　　使ってみる | 東根市立神町中学校　　第１号  ２０２２年４月１日（金）発行 |

**＜令和４年度（STEP２）＞**

　令和４年度は、“１人１台”を活用して、教科の学びを深める。教科の本質に迫る。を目標に授業実践をしていきましょう。



**東根市立神町中学校における1人1台端末の活用**

**基本コンセプト**

１　主体的に学び、新たな時代を創る生徒を育てる

**目指す生徒像　生涯にわたって“自ら学ぶ”生徒の育成**

神町中学校では、”自ら学ぶ”生徒の育成に努め、生涯にわたって学び続ける人間の育成を目指します。学ぶ意欲と学ぶ習慣を身に付けるために，情報活用能力をこれからの時代の学習の基盤とし考え育てていきます。ICT機器や情報活用能力を思考のためのツールとして活用しながら、生涯にわたって主体的に学びに向かう生徒を育てます。

**学びの環境整備（GIGAスクール環境）**

・１人１台のタブレット端末　　　　　**新たな時代の教育へ**

・高速大容量のネットワーク環境　　　　タブレット端末を，えんぴつやノートと同じ

・クラウド活用　　　　　　　　　　　　文房具のように、いつでも必要な時に自分で使う

**ICT活用授業を実践するためのステップ（イメージ）**

|  |
| --- |
| **STEP3　“１人１台”を活用して、教科の学びをつなぐ。社会課題の解決に生かす**。 |
| **STEP2　“１人１台”を活用して、教科の学びを深める。**  **教科の本質に迫る。** | |
| **STEP1　“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも使えるＩＣＴ。**  今年度  　検索サイトを活用した調べ学習　文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用　一斉学習の場面での活用 　一人一人に応じた個別学習 | | |
| **STEP0　“できること”から始めるＩＣＴ**  　【授業中】資料等の学習情報を拡大や配信で提示する　カメラ機能を活用する  　　　　　　インターネット等を活用し、情報収集・選択をする　振り返りの蓄積  【まとめ学習】　「eライブラリ」を用いて復習する　タイピング練習  【家庭学習】　　「eライブラリ」を用いて予習する　１日の振り返り | | | |
| **支える土台づくり**  基本的な約束つくる　端末やアカウント設定の確認　　ICTスキルの表示　ICT支援員の配置  トラブルマニュアルの提示　研究校の実践 | | | | |

**授業での7つの活用場面**

**個別学習**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【個に応じた学習】  ○一人ひとりの特性や習熟の程度に応じた学習を実施する  ・学習者用デジタル教科書やデジタルドリル・教材を使い，各自のペースで学習する  →知識技能の習得  ・発音・朗読，書写，運動，演奏等の活用の様子を記録・ 再生する  →技能の習得や向上 | 【調査活動】  ○インターネットやデジタル教材を用いた情報収集，観察における写真や動画等による記録等，学習課題に対する調査を行う  ・タブレットを用いて写真・動画等の詳細な観察情報を収集・記録・保存する  →新たな気付きにつなげる  ・インターネット等を用いて効率の良い調査活動と確かな情報収集を行う  →主体的に収集・判断する力の向上 | 【思考を深める学習】  ○デジタル教材を用いた学習課題の試行により，考えを深める学習を行う  ・試行を容易に繰り返す  ・デジタル教材や動画コンテンツ等を用いることにより，通常では難しい実験・試行を行う  →関心の向上，理解を深める  ・プログラミングの活動を通して試行錯誤しながら目的を達成する  →プログラミング的思考 | 【表現・制作】  ○写真，音声，動画等を用いて多様な表現を取り入れる  ・個別に制作した作品を自在 に保存  ・共有することにより，制作過程を容易に振り返り，作品を通した意見交流を行 う  →作品の表現方法の向上 |

**協働学習**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 【発表や話し合い】  ○学習課題に対する自分の考えをグループや学級全体に分かりやすく提示して，発表・話し合いを行う  ・タブレットや大型提示装置を用いて個人の考えを整理して伝え合う  →思考力や表現力を培う 多角的な視点に触れる  ・テキストや動画で表現や考えを記録  ・共有し，何度も見直しながら話し合う →新たな表現や考えへの気付きを得る | 【協働での意見整理】  ○グループで複数の意見・考えを共有し，話し合いを通じて思考を深めながら，協働で意見整理を行う  ・クラウドを活用し，互いの進捗状況を把握しながら作業することで意見交流が活発になる  →学習内容への思考を深める  ・タブレットや大型提示装置にクラウドを活用してグループ内の複数の意見  ・考えを書きこんだスライド等を映す  →考えを共有し，議論を深め，課題に対する意見整理を円滑に進める | 【協働制作】  ○写真・動画等を用いた資料・作品をグループで分担したり，協働で作業しながら制作したりする  ・グループ内で役割分担し，クラウドを活用して，同時並行で作業することにより，他者の進み具合や全体像を意識して作業する  ・写真・動画等を用いて作品を構成する際，表現技法を話し合いながら制作する  →豊かな表現力を身に付ける |

大学入学共通テスト　教科「情報」追加を正式決定

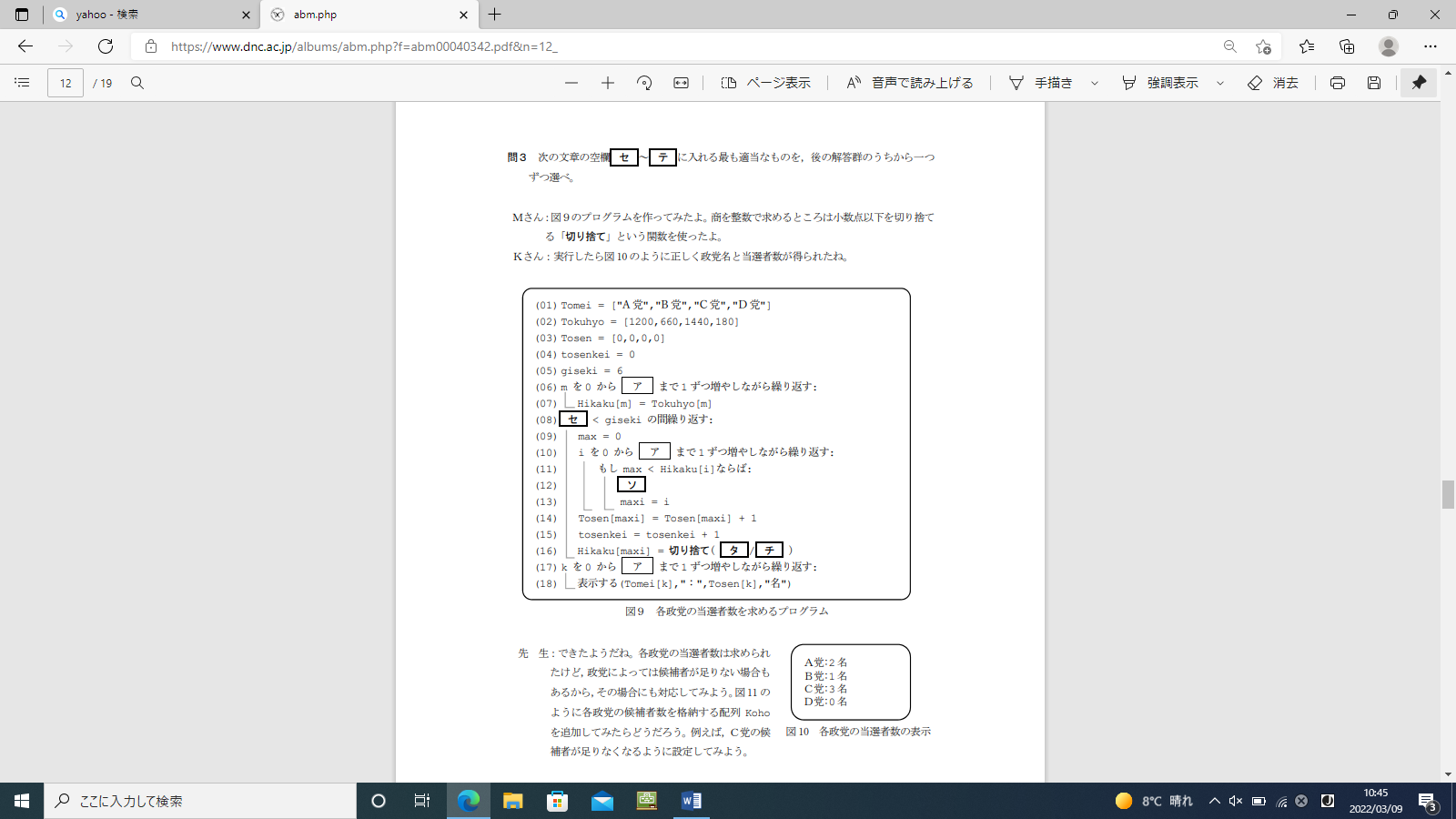
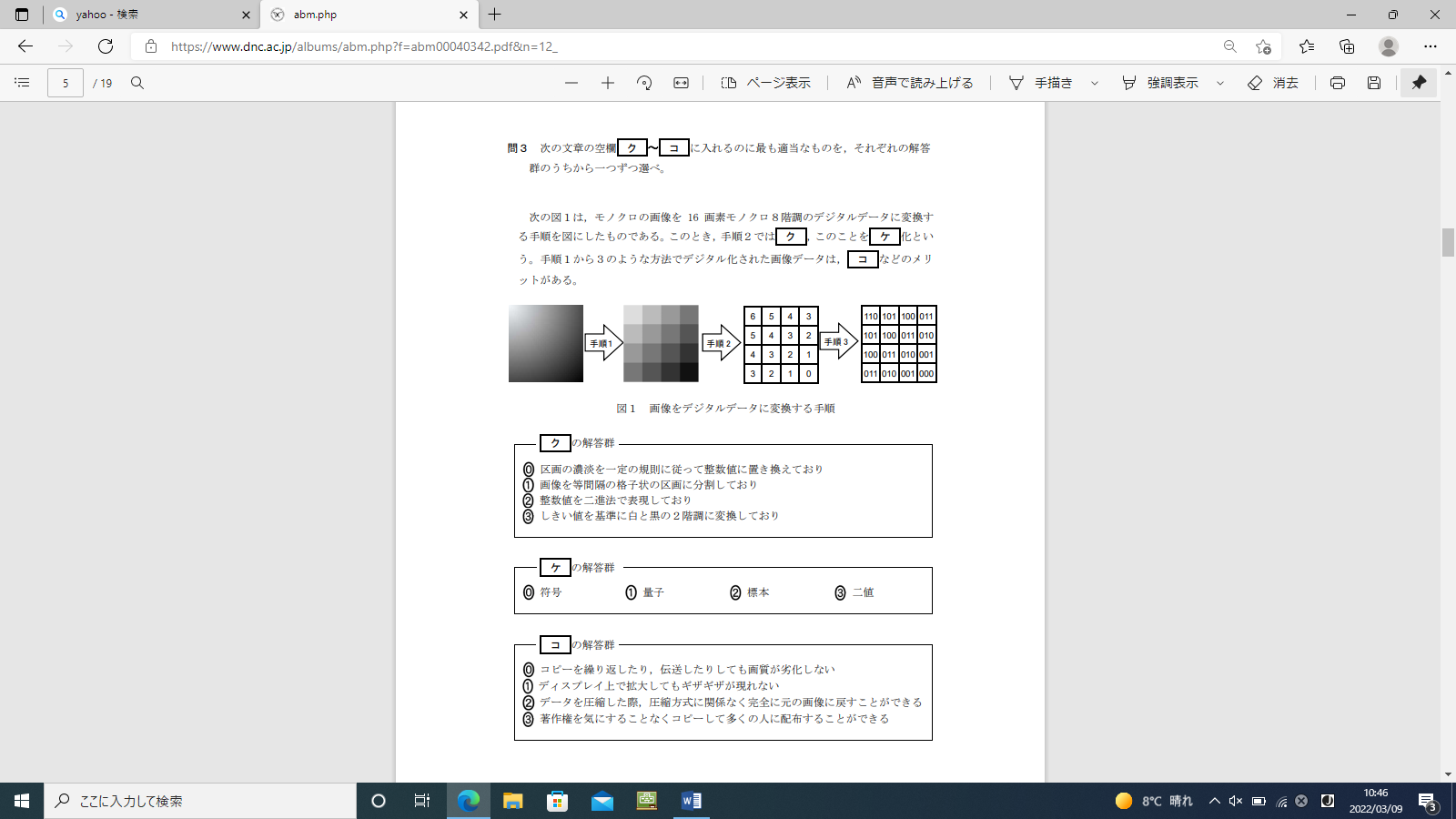
２０２５年１月の大学入学共通テストから出題が始まる「情報」について、国立大学協会はすべての国立大で原則、受験生に課す方針を決めた。国立大が大学入試センター試験から受験生に課してきた「５教科７科目」は、情報が加わり「６教科８科目」となる。

高校では今春から、プログラミングを学ぶ必履修科目「情報Ｉ」が新たに導入される。このため、共通テストの情報もプログラミングが出題範囲となる。共通テストと２次試験の結果をあわせて合否を決める国立大受験には、プログラミングが必須となる。

「情報」のサンプル問題

　各国立大は２２年度中に情報の配点などを決定して公表する。

大学入試センターより



少し時間が経ってしまいましたが、１月終わり頃のニュースです。２０２５年からということは、卒業した３年生から実施ということですかね。試験方法（ＣＢＴ）や試験科目（情報）が時代と共に変化しています！



県からの２年間の委託は終了しましたが、今年度もＩＣＴ活用を

推進していきたいと思います。よろしくお願いいたします！